

みなさんこんにちは、袁です。突然ですが、皆さんは、今挑戦していることはありますか？本日の私のスピーチテーマは、「今、挑戦している人に伝えたいこと」、でございます。では、始めさせていただきます。/

2018年10月2日、その日、私は日本という国の土地を、初めて踏みしました。飛行機に乗るとき、窓を通して、信じられないほどのきれいな景色を見ました。広い空はまだ紺色でしたが、遙かな地平線は朝日によって、黄金色にそめられていました。それは流れる川のように、暖かくて、輝いている感じがしました。あの時、初めて飛行機で不思議な朝焼けを見た瞬間、まるで新しい生活がとびらを開けて、「よろしくお願いま〜す」という熱いメッセージを伝えてきたようでした。/

それまでの人生を振り返った時、「後先を考えず、ひたすら期待して、そして努力すること」の大切さに気付きました。中国のある無名の小さな町から、海を越えて、美しい港の横浜へ行けるのは、かつては、ただの夢でした。それでも、目標が確立して以来、日々走り続けていたので、ほら見て、今このステージに立っています。/

しかし、生活はいつも希望に満ちているわけではありません。日本に来る途中もそんなに順調ではありませんでした。乗り継ぎ便に遅れるかもしれないという知らせがあったので、泣かんばかりに焦りました。最初は言葉が通じなくて、困ったこともどんどん出てきました。特に両国には文化の違いがあるので、今私にとっての一番の挑戦は、新しい環境と生活に慣れることです。そのためには態度や行動に気を配るべきだと思います。/

わたしの好きな作家の中で、ミラン・コンデラという人がいます。彼はこう言いました。「私は今から、慎重に自分の生活を選んで、簡単に様々な誘惑に迷いこまないようにする。私はすでに昔を顧みる暇がないから、前へ行く。」

彼の言った通り、生活は自分が一歩進むたびに、どんどん世界が広がってきます。自分の可能性や能力を、周囲の意見や常識というオりに閉じ込めることをやめて、自由に、好き勝手に生きていくことこそがもっとも価値があると思います。/

いま挫折や挑戦にあうたびに、飛行機で見た、その時まだ知らなかった国の美しい日の出が思い出されます。生活が順風満帆なら、樂觀するのは当たり前です。もしいま暗闇にいても、前には太陽が輝いていると認識してほしいです。では、みなさん、一緒に太陽に向かって飛びましょう。

以上です。ご清聴ありがとうございます。/